

「食の安全・安心」についてのアンケート結果

県民の皆さんが食の安全・安心に関して、日ごろ感じておられることをお聞きし、今後の県政（滋賀県食品衛生監視指導計画など）に反映するため、アンケート調査を実施しました。

なお、このアンケートは、県民の皆様の意識の推移も確認しておりますので、平成17年度より継続していません。

★ 実施時期：平成29年6月

★ 対象者：県政モニター 400人

★ 回答数：352人（回収率 88.0%）

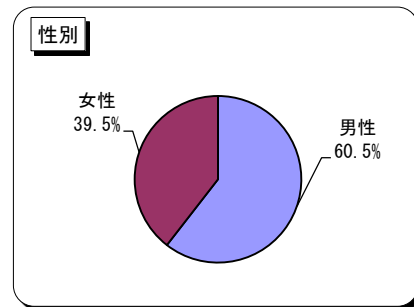
（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

★ 担当課：健康医療福祉部 生活衛生課

【属性】

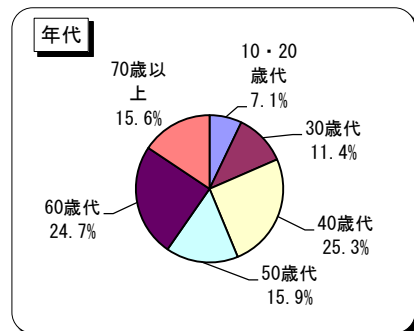
◆性別

項目	人数（人）	割合
男性	213	60.5%
女性	139	39.5%
合計	352	100.0%



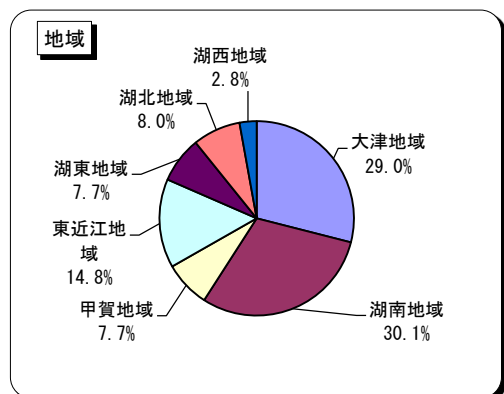
◆年代

項目	人数（人）	割合
10・20歳代	25	7.1%
30歳代	40	11.4%
40歳代	89	25.3%
50歳代	56	15.9%
60歳代	87	24.7%
70歳以上	55	15.6%
合計	352	100.0%



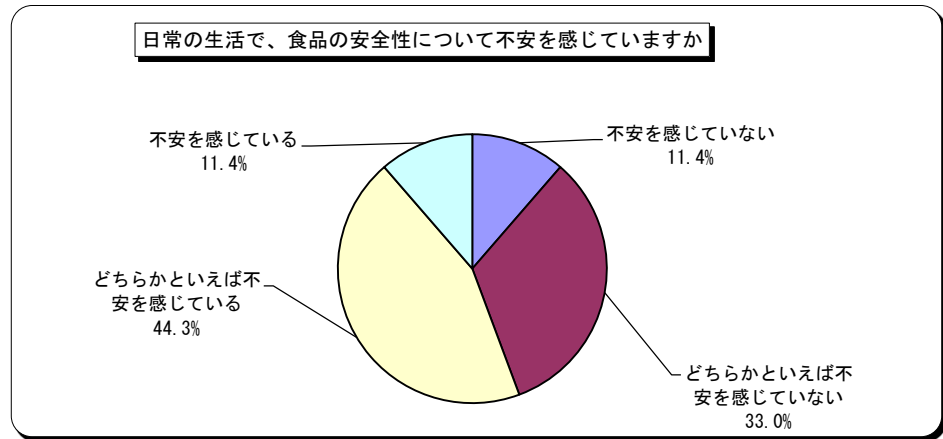
◆地域

項目	人数（人）	割合
大津地域	102	29.0%
湖南地域	106	30.1%
甲賀地域	27	7.7%
東近江地域	52	14.8%
湖東地域	27	7.7%
湖北地域	28	8.0%
湖西地域	10	2.8%
合計	352	100.0%



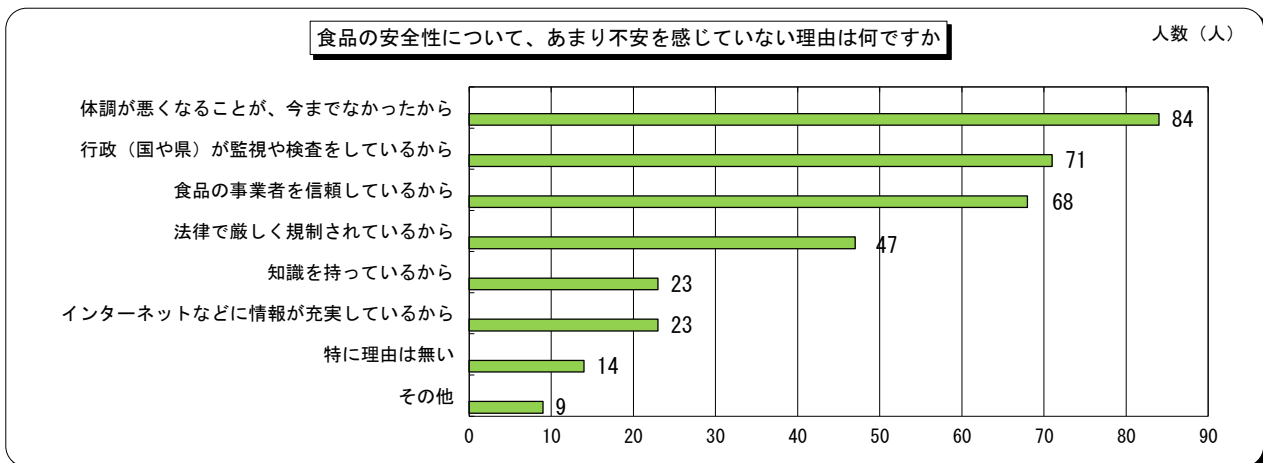
問1 日常生活で、食品の安全性について不安を感じていますか？（回答チェックは1つだけ。n=352）

項目	人数（人）	割合
不安を感じていない	40	11.4%
どちらかといえば不安を感じていない	116	33.0%
どちらかといえば不安を感じている	156	44.3%
不安を感じている	40	11.4%
合計	352	100.0%



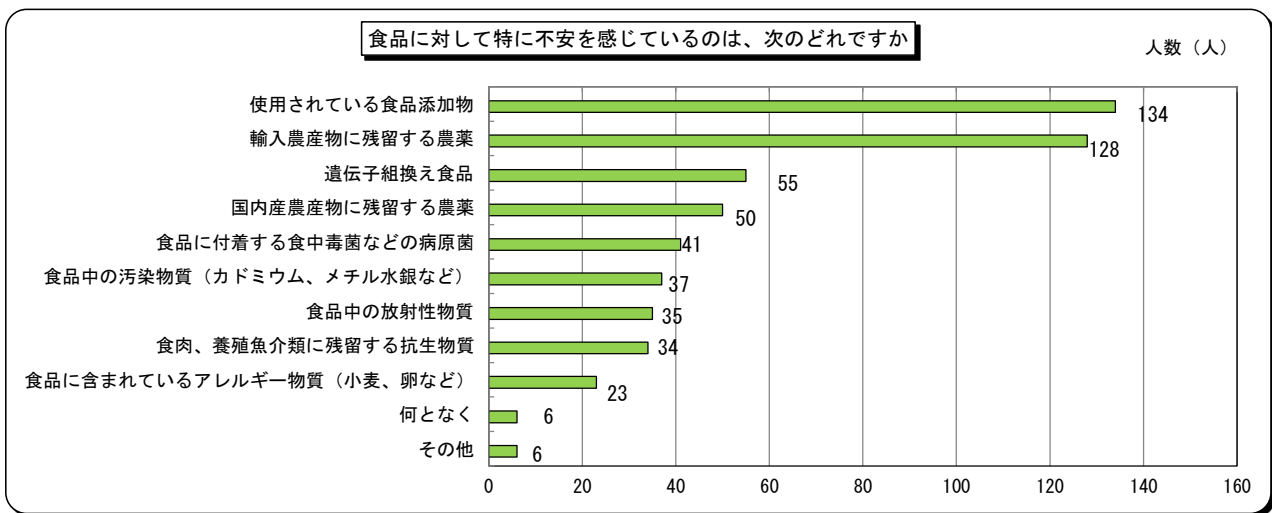
【問1で「1. 不安を感じていない」または「2. どちらかといえば不安を感じていない」と回答された方にお尋ねします。】
問2 食品の安全性について、あまり不安を感じていない理由は何ですか？（回答チェックはいくつでも可。n=156）

項目	人数（人）	割合
体調が悪くなることが、今までなかったから	84	53.8%
行政（国や県）が監視や検査をしているから	71	45.5%
食品の事業者を信頼しているから	68	43.6%
法律で厳しく規制されているから	47	18.3%
知識を持っているから	23	14.7%
インターネットなどに情報が充実しているから	23	14.7%
特に理由は無い	14	9.0%
その他	9	5.8%



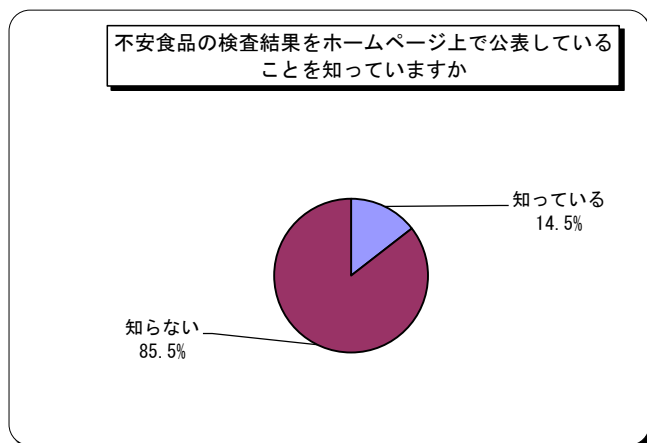
【問1で「3. どちらかといえば不安を感じている」または「4. 不安を感じている」と回答された方にお尋ねします。】
 問3 食品に対して特に不安を感じているのは、次のどれですか？（回答チェックは3つまで。n=196）

項目	人数（人）	割合
使用されている食品添加物	134	68.4%
輸入農産物に残留する農薬	128	65.3%
遺伝子組換え食品	55	28.1%
国内産農産物に残留する農薬	50	25.5%
食品に付着する食中毒菌などの病原菌	41	20.9%
食品中の汚染物質（カドミウム、メチル水銀など）	37	18.9%
食品中の放射性物質	35	17.9%
食肉、養殖魚介類に残留する抗生物質	34	17.3%
食品に含まれているアレルギー物質（小麦、卵など）	23	11.7%
何となく	6	3.1%
その他	6	3.1%



問4 滋賀県では、平成26年度から県政モニターアンケート結果を参考に、「不安を感じている」と回答された割合の高い食品を選んで検査を実施し、その結果をホームページ上に公表しています。このことを知っていますか。（回答チェックは1つだけ。n=352）

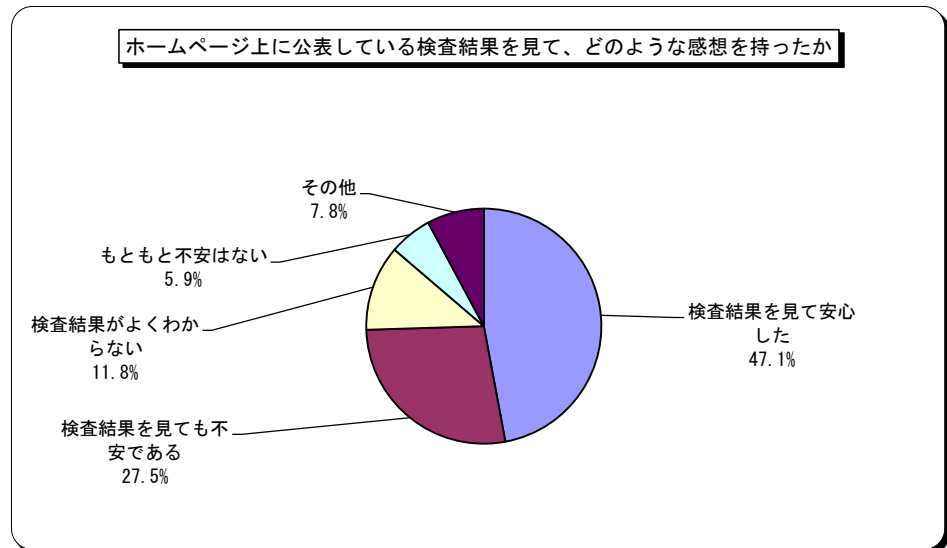
項目	人数（人）	割合
知っている	51	14.5%
知らない	301	85.5%
合計	352	100.0%



【問4で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。】

問5 ホームページ上に公表している食品の検査結果をご覧になって、どのような感想を持たれましたか。（回答チェックは1つだけ。 n=51）

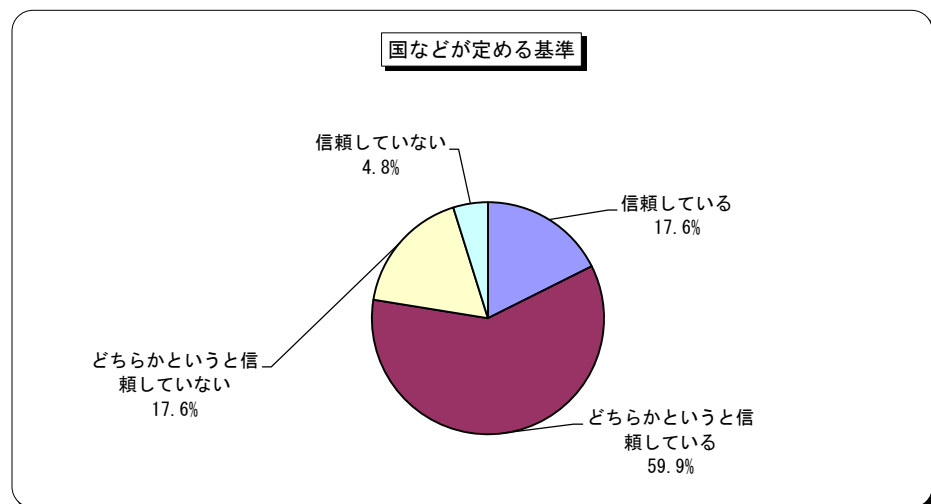
項目	人数（人）	割合
検査結果を見て安心した	24	47.1%
検査結果を見て不安である	14	27.5%
検査結果がよくわからない	6	11.8%
もともと不安はない	3	5.9%
その他	4	7.8%
合計	51	100.0%



問6 食品にたずさわる関係者等に対する信頼感についてお尋ねします。（回答チェックは各1つ。 n=352）

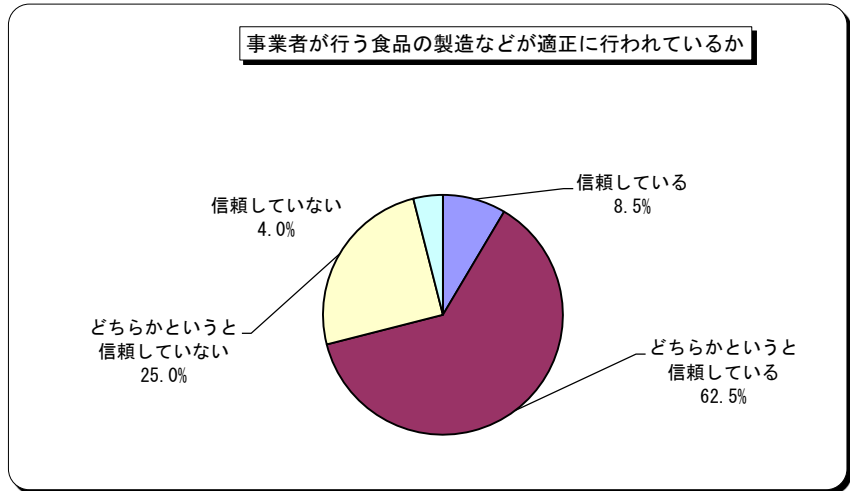
(1) 国などが定める基準（放射性物質の基準、食品添加物の使用基準など）について

項目	人数（人）	割合
信頼している	62	17.6%
どちらかという信頼している	211	59.9%
どちらかという信頼していない	62	17.6%
信頼していない	17	4.8%
合計	352	100.0%



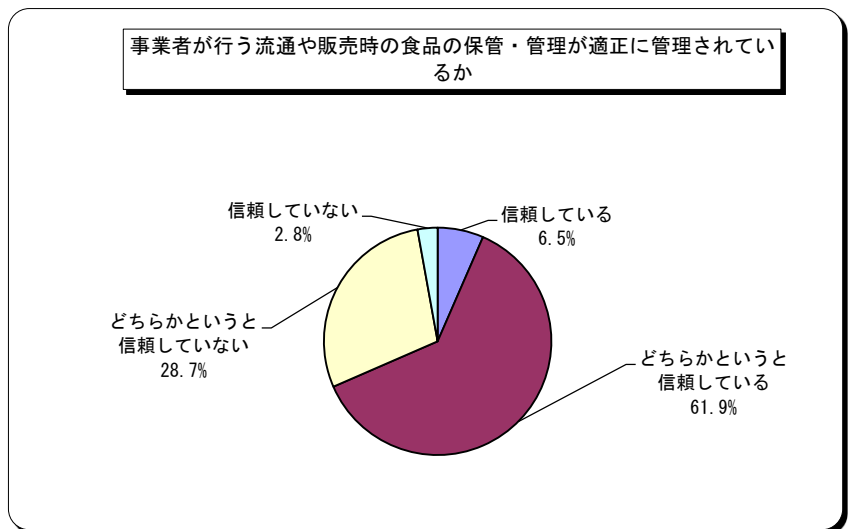
(2)事業者が行う食品の製造などが適正に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	30	8.5%
どちらかという信頼している	220	62.5%
どちらかという信頼していない	88	25.0%
信頼していない	14	4.0%
合計	352	100.0%



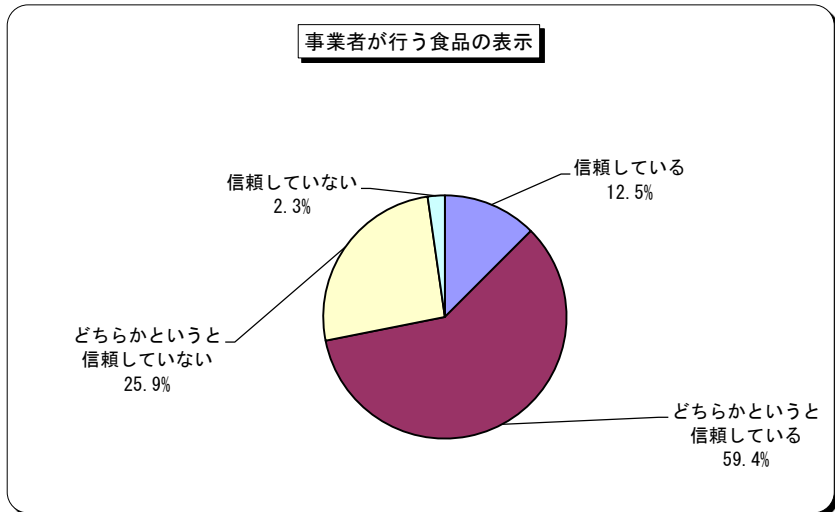
(3)事業者が行う流通や販売時の食品の保管・管理が適切に行われているかについて

項目	人数(人)	割合
信頼している	23	6.5%
どちらかという信頼している	218	61.9%
どちらかという信頼していない	101	28.7%
信頼していない	10	2.8%
合計	352	100.0%



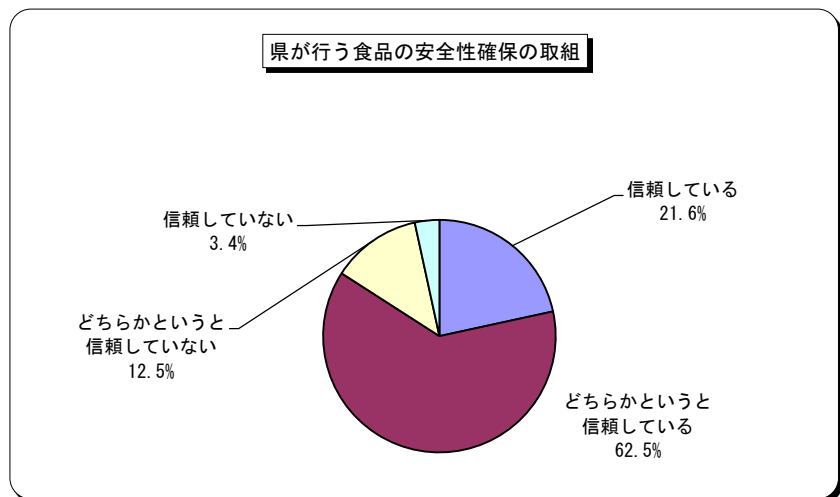
(4)事業者が行う食品の表示について

項目	人数(人)	割合
信頼している	44	12.5%
どちらかという信頼している	209	59.4%
どちらかという信頼していない	91	25.9%
信頼していない	8	2.3%
合計	352	100.0%



(5)県が行う食品の安全性確保の取組(飲食店などの立入検査や食品の検査等)について

項目	人数(人)	割合
信頼している	76	21.6%
どちらかという信頼している	220	62.5%
どちらかという信頼していない	44	12.5%
信頼していない	12	3.4%
合計	352	100.0%

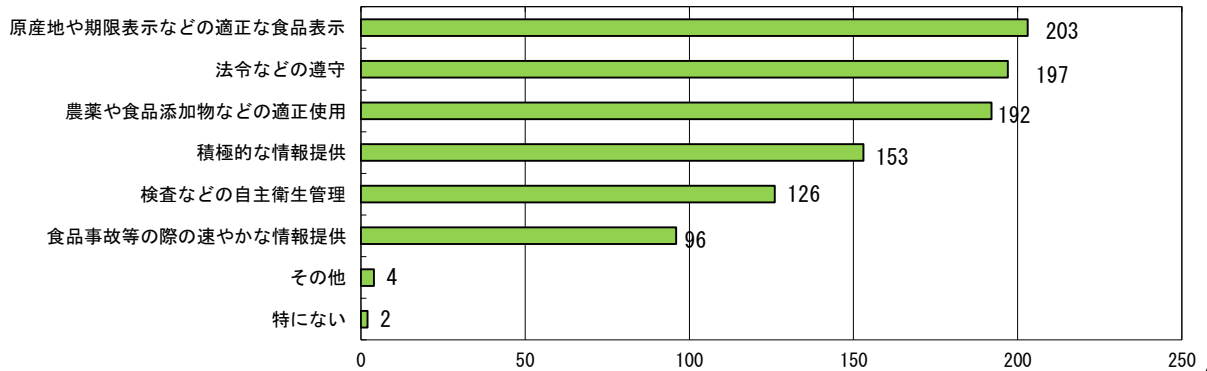


問7 食の安全のために、製造者などの食品関係事業者が取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか？
 (回答チェックは3つまで。n=352)

項目	人数(人)	割合
原産地や期限表示などの適正な食品表示	203	57.7%
法令などの遵守	197	56.0%
農薬や食品添加物などの適正使用	192	54.5%
積極的な情報提供	153	43.5%
検査などの自主衛生管理	126	35.8%
食品事故等の際の速やかな情報提供	96	27.3%
その他	4	1.1%
特にない	2	0.6%

食の安全のために、製造者などの食品関係事業者が取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか

人数(人)

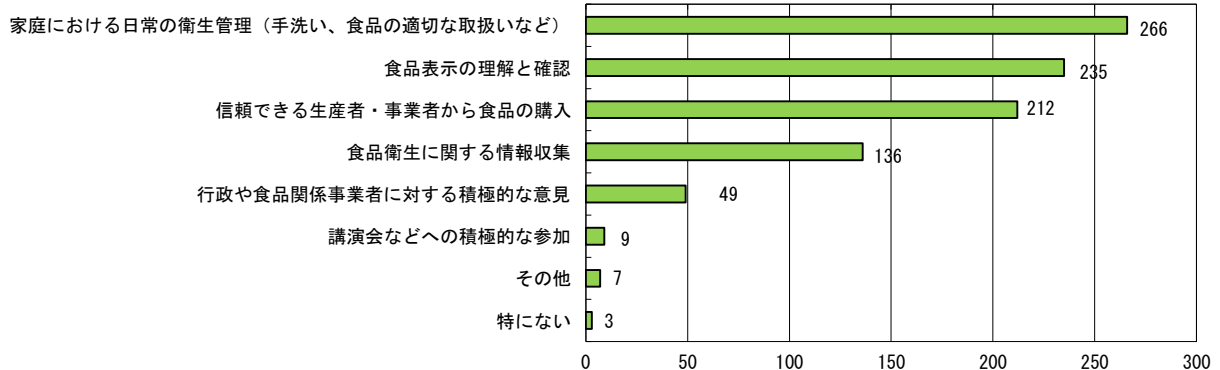


問8 食の安全のために、消費者が果たすべき役割はどのようなことだと思いますか？ (回答チェックは3つまで。n=352)

項目	人数(人)	割合
家庭における日常の衛生管理(手洗い、食品の適切な取扱いなど)	266	75.6%
食品表示の理解と確認	235	66.8%
信頼できる生産者・事業者から食品の購入	212	60.2%
食品衛生に関する情報収集	136	38.6%
行政や食品関係事業者に対する積極的な意見	49	13.9%
講演会などへの積極的な参加	9	2.6%
その他	7	2.0%
特にない	3	0.9%

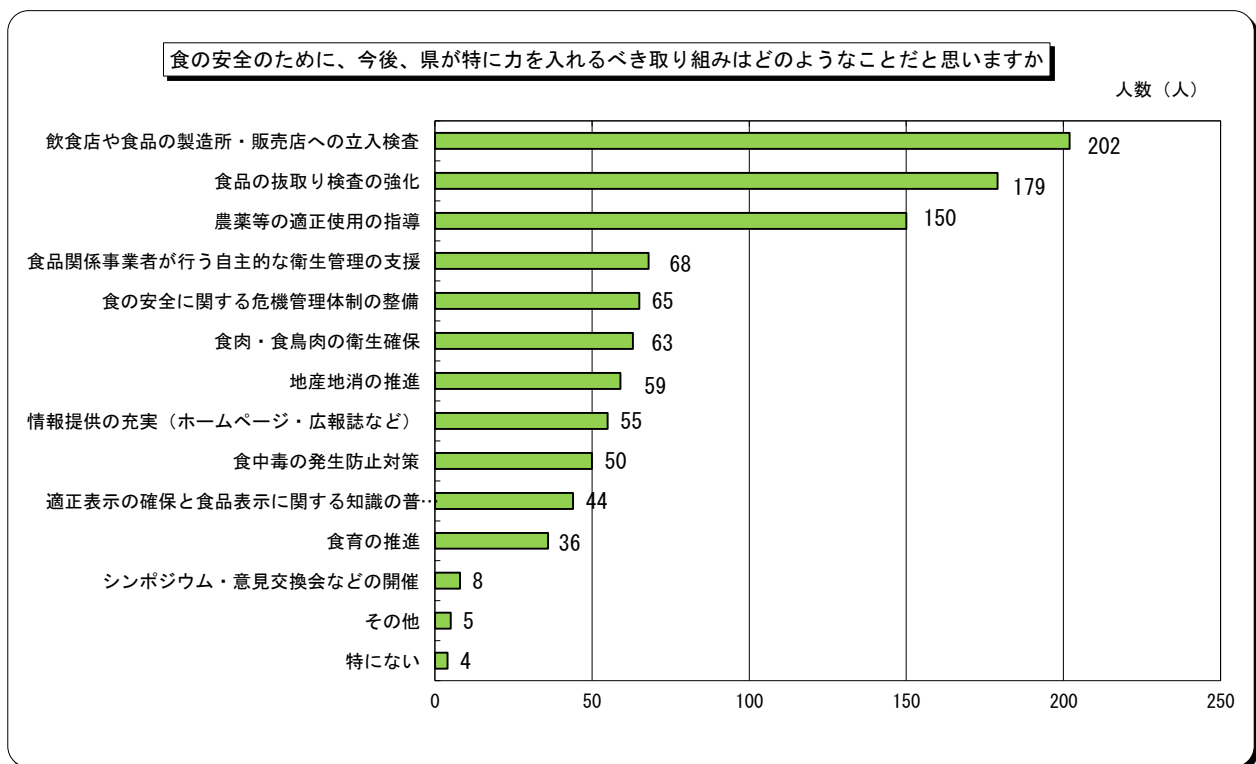
食の安全のために、消費者が果たすべき役割はどのようなことだと思いますか

人数(人)



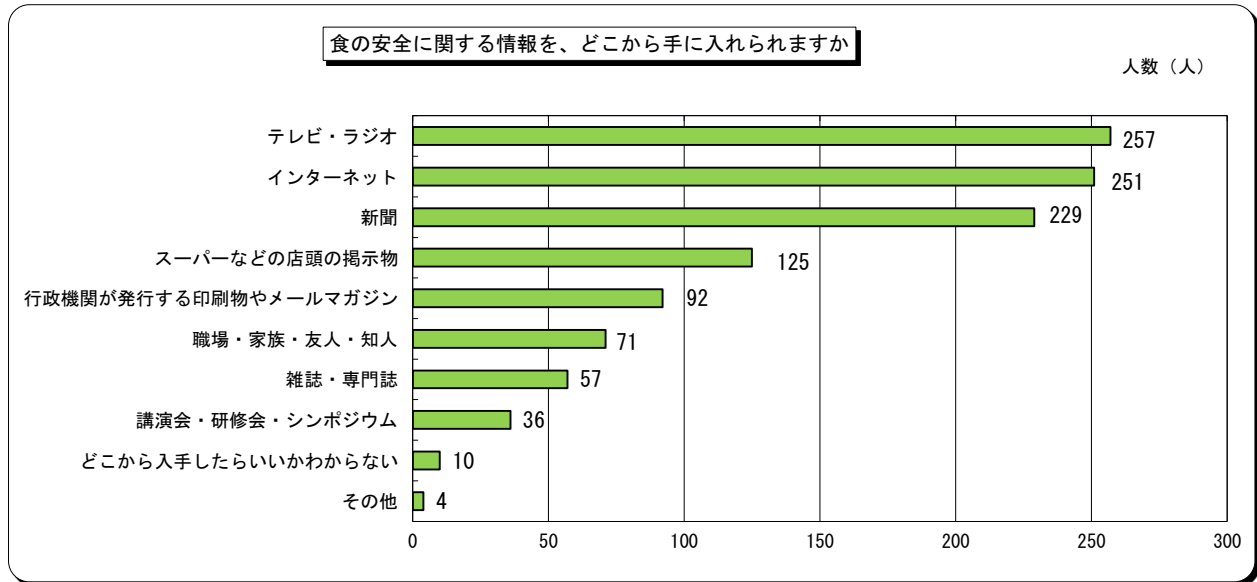
問9 食の安全のために、今後、県が特に力を入れるべき取り組みはどのようなことだと思いますか？（回答チェックは3つまで。
n=352）

項目	人数（人）	割合
飲食店や食品の製造所・販売店への立入検査	202	57.4%
食品の抜き取り検査の強化	179	50.9%
農産等の適正使用の指導	150	42.6%
食品関係事業者が行う自主的な衛生管理の支援	68	19.3%
食の安全に関する危機管理体制の整備	65	18.5%
食肉・食鳥肉の衛生確保	63	17.9%
地産地消の推進	59	16.8%
情報提供の充実（ホームページ・広報誌など）	55	15.6%
食中毒の発生防止対策	50	14.2%
適正表示の確保と食品表示に関する知識の普及啓発	44	12.5%
食育の推進	36	10.2%
シンポジウム・意見交換会などの開催	8	2.3%
その他	5	1.4%
特になし	4	1.1%



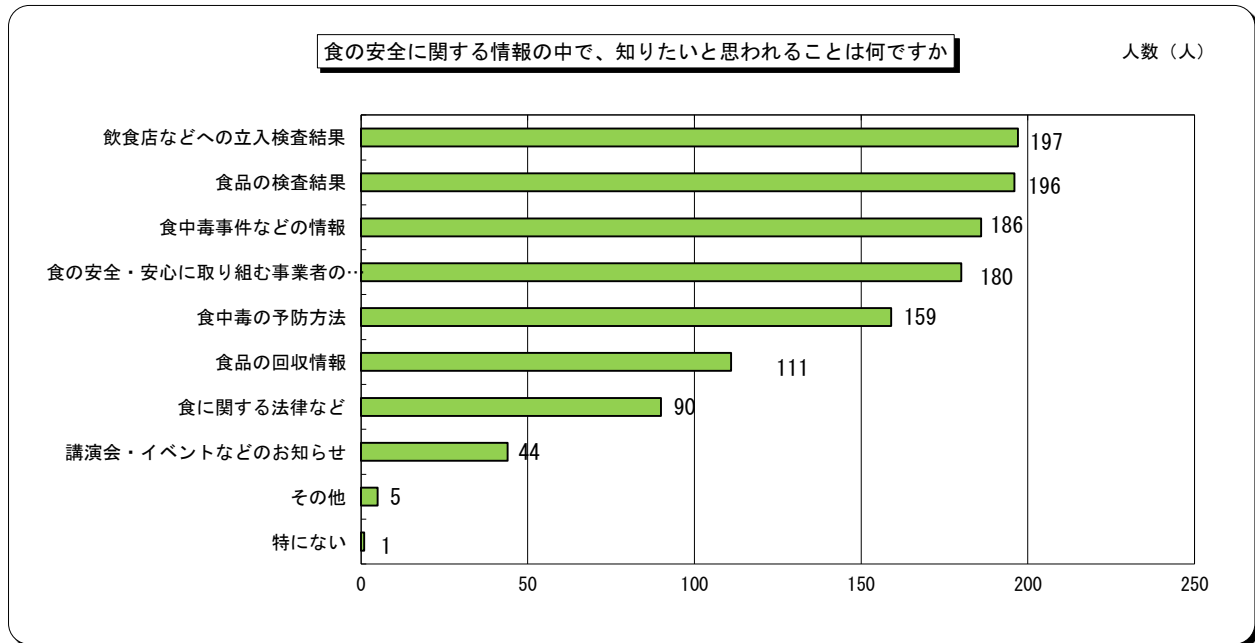
問10 食の安全に関する情報を、どこから手に入れますか？（回答チェックはいくつでも可。n=352）

項目	人数（人）	割合
テレビ・ラジオ	257	73.0%
インターネット	251	71.3%
新聞	229	65.1%
スーパーなどの店頭の掲示物	125	35.5%
行政機関が発行する印刷物やメールマガジン	92	26.1%
職場・家族・友人・知人	71	20.2%
雑誌・専門誌	57	16.2%
講演会・研修会・シンポジウム	36	10.2%
どこから入手したらいいかわからない	10	2.8%
その他	4	1.1%



問11 食の安全に関する情報の中で、知りたいと思われることは何ですか？（回答チェックはいくつでも可。n=352）

項目	人数（人）	割合
飲食店などへの立入検査結果	197	56.0%
食品の検査結果	196	55.7%
食中毒事件などの情報	186	52.8%
食の安全・安心に取り組む事業者の情報	180	51.1%
食中毒の予防方法	159	45.2%
食品の回収情報	111	31.5%
食に関する法律など	90	25.6%
講演会・イベントなどのお知らせ	44	12.5%
その他	5	1.4%
特になし	1	0.3%



問12 あなたが、食の安全性について、日頃感じていることを自由に記述してください。（400字以内）

【主な意見】

・遺伝子組み換えの原材料を使用した食品を知らずに摂取していることがあるので色々な手段で情報の提供をお願いしたいと思います。

・消費者は事業者の発信する情報を信じるしかない弱い立場です。行政は消費者が安全に食生活ができるように対策をとり、三者が信頼できる関係を構築していくことを期待します。

・食品に関する仕事をしているので、日々の決まり事を確実に実行し、普段と違うところがあれば職場全体で情報を共有するようにしています。これからの時期、気温の上昇と共に食中毒が懸念されるのでしっかり対処していきたいです。

・国等の行政機関を信用しているが、民間では、偽装表示などの不安はある。許される範囲の間はいいが、健康を害することは許されない。行政の定期的な抜き打ち検査等を充実してほしい。

・原産地の表示について信頼ができるのか。

・輸入食品についての安全性確保情報がわからない。輸入食品の包装表示は不明であり、現地の製造、管理などの基準が日本と同等であるのか、また、検査・判定が同等に行えているのか、日本に入った際の検査・判定も同じ、さらに不具合の有無や情報等があれば商品選択にわかりやすい。現在、輸入先の先入観で買わないものがある。

・食品の安全については関心の深いところです。まずは、わたしたち消費者が正しい知識を得て適切に対応していくことが重要です。このため、行政は情報の提供、セミナー等を積極的に推進してほしい。

・子どもたちにも義務教育の理科や家庭科の中で菌の生態や食中毒の実態をよく教えておくべきだと思う。できれば保護者にも。

・国民の食品に対する安心は「消費者側の食品の安全が守られていることへの確信」と「食の安全を守ろうとする事業者（企業）や行政への信頼」で成り立っていると思います。そのためには消費者は常に正確な情報や正しい知識を持ち、また事業者は健康被害などあらゆる食品リスク事象を発生させない経営努力をすることが大切です。行政には国の食の安全と安心のために更なるご尽力をお願いいたします。

・どんな製品、作物でも正直に情報提供することが重要。消費する者が取捨選択するのだから。

・地産地消を心掛けています。そのことで、生産者の顔は見えなくても、心を込めて作ってくださっていることを感じられ、そのことで食の安全への信頼も高まっています。もっと、生産者の方と消費者の私達が意見を交わせる機会があれば良いなと思います。

・ユッケを販売できなくなったというニュースを以前聞いたことがあるのですが、ユッケはダメなのに馬刺しなど他の生肉の料理は提供されているのはなぜなのか、どこからがダメなのかという基準が知りたいと感じています。

・これから夏場にかけては特にいつも気を付けたいことに食中毒があります！衛生管理はもちろんのこと、保存方法は消費者の自己責任の問題ですが、食品そのものに関しては販売者や生産者を信じるしかないので行政は常に抜き打ち検査などでチェックを行っていただいて、不安を安心に変えてほしいです。

・輸入食品の製造過程での衛生管理、食品添加物が国産品に比べて、やはり信頼が出来ていない、国内製造メーカーの現地法人会社製品は多少の安心感あるものの、輸入代理店(商社)経由の輸入品は未だ不安が残る。

・日本の食は安全だと漠然と思っています。法律はよくわかりませんが、お店で並んでいる物は、厳しい検査を受けて出されているのであまり心配はしていません。逆に、厳しすぎるがゆえに食べられるものが無駄に捨てられるのも問題かと思えます。法律がある以上、販売者にはモラルが必要ですし、消費者も衛生面に気を付ける必要があると思います。

